

## 平成 24 年度森林の活動体験教室 / 津市立明小学校報告

作成：平成 24 年 2 月 8 日 大杉谷自然学校

1. ねらい 椎茸の菌打ちでは、伐った木を利用して次の命を育てていく。その生き物の営みなどを学ぶ。  
間伐体験では、木をどうして伐らなければいけないのかなどを子どもたちと一緒に考えながら、森の役割などを学ぶ。  
学校林での体験を通して、自分たちの学校、地域に愛着や誇りを持つ子を育てる。
2. 対象 津市立明小学校 4 年生 23 名(5 班)  
5 年生 13 名(2 班)
3. 日時 平成 13 年 2 月 7 日(木) 4 年生 10:40 - 12:15  
5 年生 13:50 - 15:20
4. 場所 明小学校 グラウンド、学校林
5. 講師 椎茸菌打ち / 鈴木宗男(芸濃林業研究会会長)、竹尾伸宏氏、  
間伐体験 / 芸濃林業研究会 5 名(鈴木氏他)
6. スケジュール

### 4 年生「椎茸の菌打ち」3・4 限目

時間	内容	場所 / 備考
10:40-11:00	スタッフ紹介 キノコの話	4 年生教室
11:00-12:05	椎茸の菌打ち体験(グループ毎に活動) ・ドリルで穴を空けコマ菌を打つ ・ほだ木を学校林に運んで伏せる	学校林
12:05-12:15	質問タイム ・ ふりかえり ・ まとめ	

### 5 年生「間伐体験」5・6 限目

時間	内容	場所
13:50-14:10	スタッフ紹介 挨拶と導入のお話など	明の森
14:10-15:10	間伐体験 ・作業内容の説明・注意事項 ・間伐作業の体験や皮むきを行い、伐った木を利用する長さに切る	
15:10-15:20	林内の掃除・まとめの話	

## 7. 活動写真



先生が用意してくれたクヌギの原木にドリルで穴を空け、木槌でコマ菌を穴に打ち込んだ。学校林に重たい木を運ぶ作業は、全員が協力して行った。

## 8. 反省・意見など

- ・ 学校で準備していたドリルが充電式の力の弱いもので、原木に穴を空ける作業には不向きだった。学校とは事前に話をしていたが、伝わっていなかったと思われる。学校が備品を購入する際には、詳細なアドバイスを心がける。
- ・ 講師とコーディネーターが予備に準備しておいたドリルを使用する事で体験は問題なく実施できた。
- ・ 菌打ち作業や間伐等、子どもだけではなく、先生方にも体験していただく機会を必ずつくるようにする。同じ体験を共有する事で体験後の子どもたちとの会話がより深まり、ふりかえりの効果が増すと思われる。
- ・ 先生方は記録やサポートに回りがちなので、講師の心遣いが必要。
- ・ 明小学校は地元講師のサポートで学校林内での体験が盛ん。
- ・ 間伐した木を利用して遊具等を作成して下さるボランティアさんがおり、間伐した木の使い道が明らかだけに、子どもたちには伐った木の利用まで考えられる良い流れの授業。
- ・ 今後も学校林を活用した授業を展開するとの事、各種助成金や、補助金、人材派遣の話があればぜひ活用したいとの事。